

公共交通のこと
考えてみませんか？

まづがわ



バスの中 広がるつながる 地域の輪

vol.

133

発行日
令和元年
9月1日



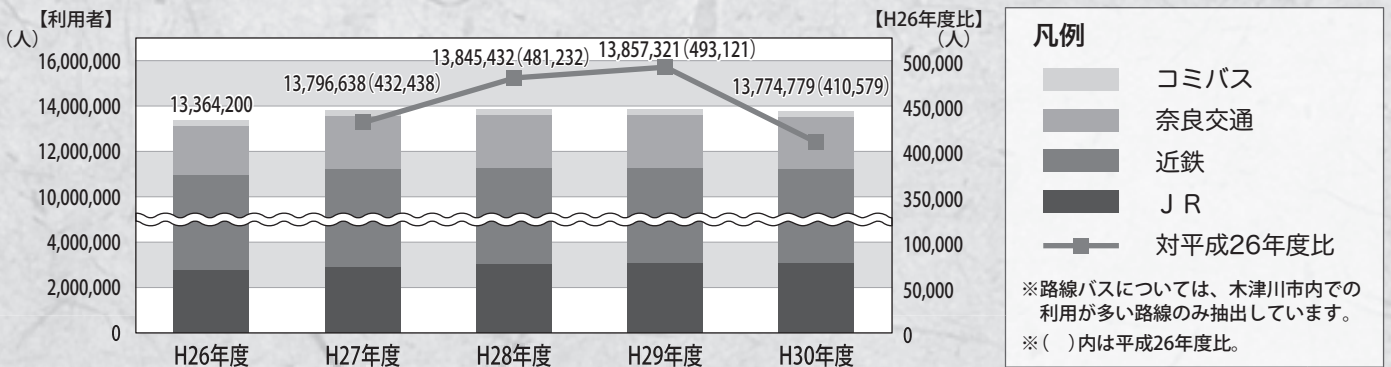
公共交通だより

木津川市では、市民の皆様にとって使いやすく満足度の高い地域公共交通づくりに取り組んでいます。今月号では、木津川市内の公共交通利用状況、コミバスの利用状況、ネーミングライツ協力事業所、強風時の対応についてお知らせいたします。

公共交通の利用状況について



平成26年度から平成30年度の市内公共交通（JR・近鉄・路線バス・コミバス）の利用状況は以下のとおりです。平成30年度は前年度と比較し、利用者が減少していますが、平成26年度比では約40万人増加しており、市内の公共交通利用者は増加傾向にあります。

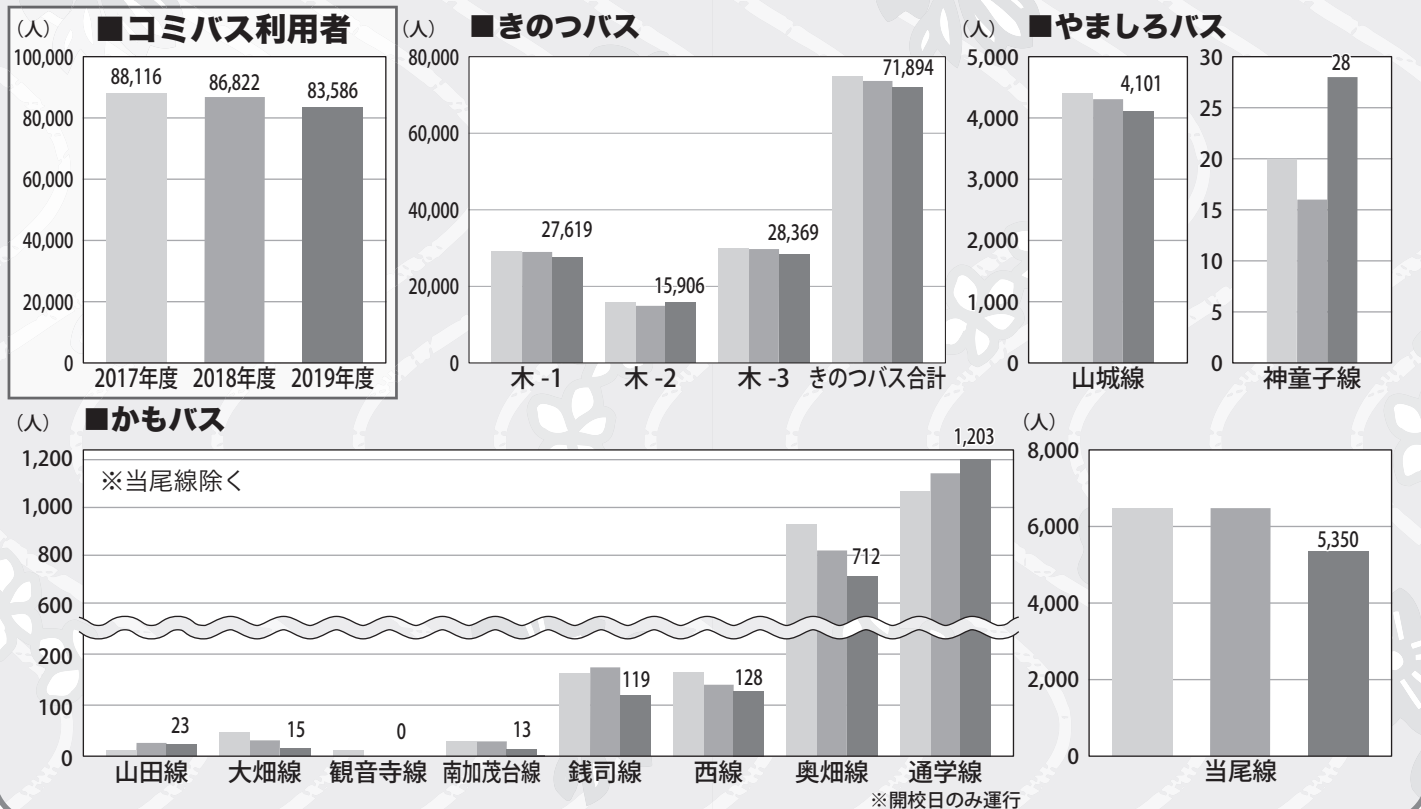


コミバスの利用状況について (4月~7月)



各年度の4月から7月までの利用状況は、次のとおりです。

一部路線を除き、コミバスの利用者は減少しています。コミバスの継続運行のためにも、みなさまの一層のご利用をお願いします。



裏面へつづきます

バス停ネーミングライツの協力事業所について (第1回)



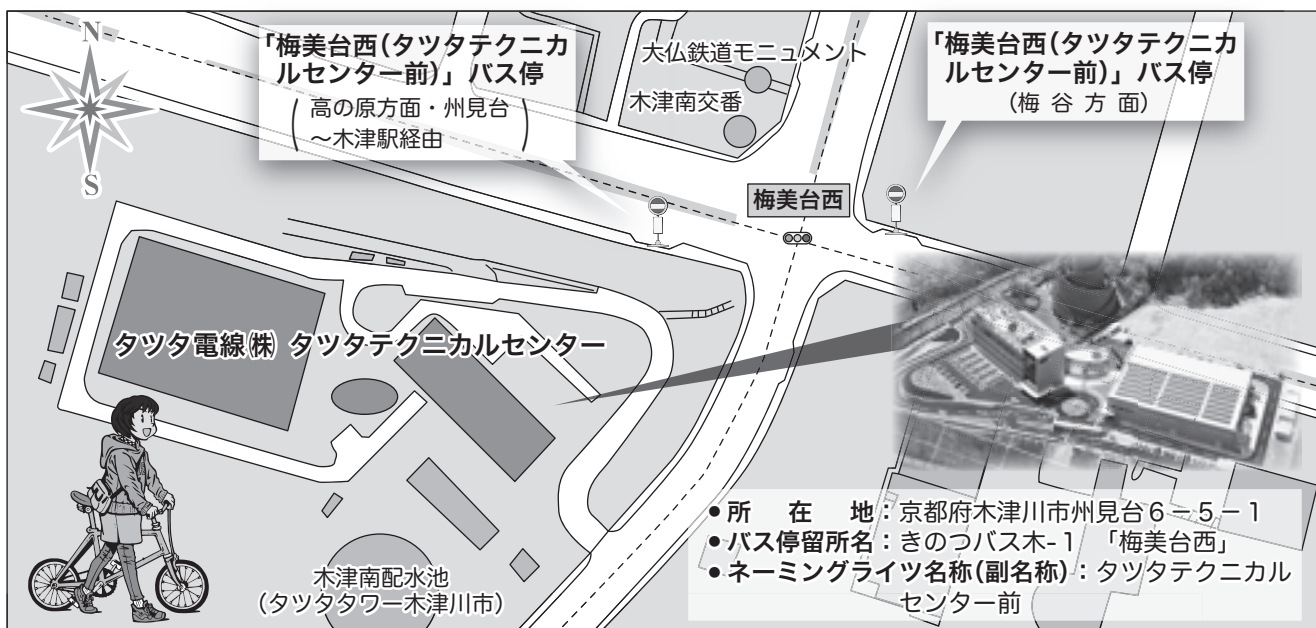
木津川市コミュニティバスは、運賃収入のほか、バス停のネーミングライツによる掲載料により運行しています。

今回は「梅美台西」バス停のネーミングライツにご協力をいただいている事業所について、紹介します。

タツタ電線(株) タツタテクニカルセンター

タツタテクニカルセンターは、木津川市州見台に2013年5月に研究開発の核となる「Research Laboratory」を設け、電気・電子・金属・化学・光学といった各分野の研究開発機能を集約、それに加えて最新の研究開発設備を多数導入することで開発スピードを加速させ、お客様のニーズを的確に把握するとともに、時代のニーズを探求し続ける体制を整えています。

また、素材メーカーとの連携や産学共同の研究も推進させ、将来に向けた最先端の情報と各分野のスペシャリストが集まる技術開発拠点を目指しています。



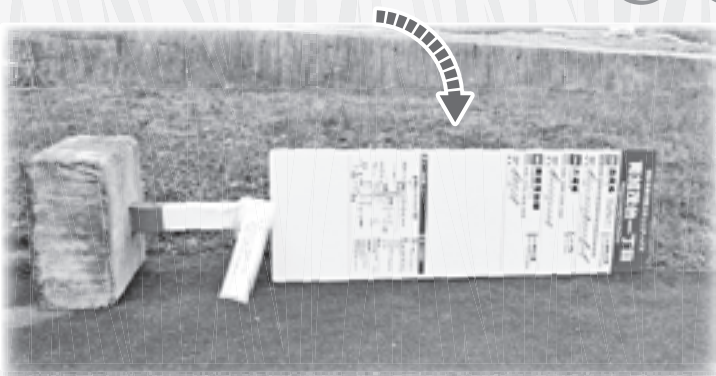
強風時はバス停標柱を倒します



台風接近時など、強風が予想される場合又は強風警報が発令されている場合は、バス停標柱の転倒による事故を防ぐため、あらかじめ標柱を倒す場合があります。(運行を中止しているわけではありません。)

コミバスご利用の際や付近を通行する際はご注意ください。

なお、コミバス各路線における運行状況については、市役所学研企画課までお問い合わせください。



公共交通は、みなさまのご利用によって成り立っています。
鉄道やコミバス等の一層のご利用をお願いします。

発行：木津川市地域公共交通総合連携協議会
事務局：木津川市学研企画課

〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9
電話番号：0774-75-1201 (直通)
e-mail：kikaku@city.kizugawa.lg.jp

※この用紙は「雑がみ」としてリサイクルできます。不要になったら、地域の集団回収や古紙拠点へ出してください。